



写真:キリシマミズキ (撮影:平成26年4月14日)

「キリシマミズキ」

キリシマミズキは、明るく繊細な花をたわわに咲かせ、まるで、森のシャンデリアのようです。

マンサク、シロモジと黄色い花で始まる霧島山の春。中でも最も華やかな花は、キリシマミズキです。明るく繊細な花をたわわに咲かせる様子は、森のシャンデリアのようです。うっすら桃色をしたつぼみもきれいです。花は、ほんのりと良い香りを放ち、最盛期には、えびの高原を吹く風がこの花の香り運んできます。花が終わるころ、うちわのようなみずみずしい葉を開きます。

キリシマミズキは、その名のとおり、霧島山だけに分布する植物です。九州では、霧島山では、沢沿いなどで比較的良好に見られ、えびの高原へ至る県道沿いでも見ることがができます。

えびの高原では、4月末から5月上旬にかけて、ノカイドウやオオカメノキ、キリシマミツバツジなどの花が見ごろを迎えます。

えびのエコミュージアムセンターでは、4月26日に、春の池巡り自然観察会を開催します。ゴールデンウィークには、パークボランティアが常駐し、自然解説を行っています。ぜひ、ご利用ください。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

キリシマミズキ マンサク科トザミズキ属
Corylopsis glabrescens